

ふるさと

第48回ふるさとまつり 札幌コンベンションセンターで開催

他市との交流企画

登別市ステージイベント

白石区と歴史的な繋がりのある登別市のPRキャラクターが登場し、登別市のグッズを配布するなど、会場を盛り上げてくれました。



宮城県白石市物産市

白石市観光協会が窓口となり、白石城の指定管理者である(公財)白石市文化体育振興財団が出店し、白石温麺や清酒蔵王をはじめ、様々な特産品を販売しました。



ふるさと会活動報告 2、3、4面

会長あいさつ
ご寄付へのお礼など 4面



多くの来場者でにぎわう札幌コンベンションセンター



会場を魅了した「白石音頭」の演舞

令和5年7月17日に、「白石区ふるさとまつり」を、札幌コンベンションセンターで開催しました。四年振りに開催したふるさとまつりは来場者数が約25,000人にのぼり、多くの区民で賑わいました。大ホールではステージイベントとして、白石の郷土芸能である札幌本陣つぐみ太鼓や、総勢約50名による伝統の白石音頭の演舞ほか、ダンスやバンド演奏などが披露され、会場は賑やかに盛り上がりま

四年振りに開催したふるさとまつり

例年大人気のピンゴ大会は、用意していたピンゴカード千枚がすぐに完売するなど、会場は熱気につつまれました。また、白石区に縁のある団体や企業をはじめとした様々な協賛された皆様から提供いただいた飲料や食品等を景品とさせていただきます。参加した区民の皆様は番号が読み上げられるたび、一喜一憂していました。同会場の中ホールにおいて、札幌市子ども会育成連合会白石区支部が中心となって開催された「子ども遊芽(ゆめ)カーニバル」では、工作などのコーナーやステージ発表などが行われ、会場には子どもたちの楽しげな笑い声が響いていました。



熱気に包まれたピンゴ大会

児童・生徒創作広場 白石テラスななかまど

地域の小中学生の 作品を掲載

当会は白石区内にある20校の小学校と8校の中学校の児童・生徒が制作した国語作品と絵画・美術作品を掲載した「児童・生徒創作広場 白石テラスななかまど」第3号を令和6年1月に発行しました。白石区の児童・生徒への配布のほか札幌市図書館、区内の図書館及び児童会館等に寄贈し、地域の方にも気軽に手に取れるようにしています。『ななかまど』は創刊が令和3年12月であり、今年度で3回目の発行となりましたが、児童・生徒の発表の場として、未永く活用していただきたいと考えております。結びに、ご協賛いただきました企業の皆様、作成に協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



ななかまど 第3号

会長あいさつ、ご寄付へのお礼

会長あいさつ



白石区ふるさと会会長の武藤です。日頃から、当会の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

昨年の5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となりまして、皆さまのご尽力により、当会の事業も本格的に活動再開することができました。特筆して、4年ぶりに開催した第48回ふるさとまつりでは、会場を札幌コンベンションセンターと川下公園の2会場体制に変更し、1日のみの開催となりましたが、約25,000人が訪れる大盛況となりました。一時的に強い雨にも振られつつも、会場が屋内というメリットを存分に生かすこともでき、素晴らしいまつりになったと感じております。まつりをはじめ、他事業の詳細な活動報告も本会報に載せておりますので、御高覧いただければ幸甚に存じます。

今年も様々な事業を行い、白石区のみちづくりに尽してまいりたいと思います。引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年度寄付者のご紹介

札幌白石ライオンズクラブ様 80,000円

当会にご寄付いただいた皆さま(一部)をご紹介します。いただいた寄付金は、中学生の主張発表会で、最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市に派遣する事業などに活用させていただいたほか、今後実施する事業で活用させていただく予定です。このほかの皆さまからもご寄付をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

～白石区ふるさと会にぜひご入会ください～

会費を銀行振込または事務局へ持参していただくことにより加入することができます。詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

なお、ご加入いただいた際は、白石区ふるさと会会員証(兼年会費領収書)を発行いたします。

〔団体会員：年会費5,000円から、個人会員：年会費1,000円から〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行 白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会会長 武藤征一(ムラカシ)	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	下記(白石区複合庁舎4階総務企画課庶務係)までお願いいたします。	受付時間 平日 8:45~17:15

(問い合わせ先) 白石区ふるさと会事務局(白石区市民部総務企画課庶務係)

所在地 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 電話 861-2405

でっち奉公受入企業
募集中

子どもたちにとって、就労体験は普段、学校や家庭ではできない貴重な経験となります。

白石区ふるさと会では、引き続き、本事業を行ってまいりますので、小中学生の受け入れにご協力いただける事業主様は、お気軽にお問い合わせください！

(問い合わせ先)

白石区市民部地域振興課
電話 861-2422



今年度は区内小学校1校、中学校8校の計9校から1304人の児童・生徒が参加し、区内外の136事業所に受入れのご協力をいただきました。

「次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度から「白石でっち奉公」を実施しています。本事業は当初、小学生70人の参加から始まり、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただきながら拡大し、平成20年度には1000人を超える小中学生が参加する事業になりました。

白石でっち奉公
地域の小中学生が就労体験



白石市と白石区の隊員からなる片倉鉄砲隊の火縄銃演武（川下公園会場）



様々な屋台が並び屋内外の展示スペース

また、屋内外の展示スペースでは、町内会や子ども会などが、くじやストラックアウトなどが楽しめる屋台や、やきとりやフライドポテトなど飲食の屋台を出店しており、多くの区民が列を成していました。さらに、白石城主・片倉家中の砲術などを伝承する宮城県白石市と白石区の隊員からなる「片倉鉄砲隊」が甲冑（かっちゅう）武者姿でステージに登場したほか、迫力あふれる映像が放映されました。これに先立ち、別会場の川下公園（白石区川下二六五一）で、鉄砲隊が黒色火薬を使用した火縄銃の発砲演武を行いました。大きな発砲音とともに、銃口から煙が立ち込めると、会場からは大きな歓声と拍手が沸き上がりました。今回も盛大に開催されたふるさとまつりには、約200名もの地域の皆さまにスタンプやボランティア等としてご協力いただきました。ふるさとまつりを無事終えることが出来ましたが、ご協力いただきました皆様のお力添えによるものです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ふるさと会活動報告

白石区中学生の主張発表会

表現豊かに熱弁

令和5年10月14日、白石区民センターで、「白石区中学生の主張発表会」を開催しました。この発表会は、自ら考え発表する力を養ってもらうと、昭和45年に始まった歴史のあるもので、今回で54回目を迎えました。

昨年同様、宮城県白石市のほか、登別市からもそれぞれの市で開催された弁論大会で優秀な成績を収めた中学生を招待し、4名の方に特別発表をしていただきました。白石区の中学生達は、日本におけるシエスターについて、自らの中学校の状況も交えて考察したり、生徒会活動をきっかけに、自分が選んだ道で精一杯の行動をしていくことの重要性に気が付くことができた体験を表情豊かに発表するなど、今年も多彩なテーマで熱弁がふるわれました。

また、11月には3年生の部最優秀賞の福野孝樹さん（白石中学校）と優秀賞の小田心結さん（北白石中学校）を白石市に派遣し、白石市立東中学校での交流や白石市副市長への表敬訪問など、白石区と白石市の友好を更に深めたほか、6月には、昨年度大会の2年生の部入賞者2名を登別市少年の主張大会に派遣し、特別発表を行いました。



3年生の部最優秀賞 福野 孝樹さん



白石城で「甲冑試着体験」(白石区の中学生)

月寒川にぎわい

川まつり

川で遊ぶ機会を子どもたちに

令和5年7月29日、当会などで構成する実行委員会が「月寒川にぎわい川まつり」を開催しました。このイベントは、子どもたちに身近に自然と接する機会と親子のふれあいの場を提供し、さらには自然環境について考えるきっかけをつくること開催されており、今回で28回目を迎えました。

当日は、天候にも恵まれ、親子連れなど約800人が参加。子どもたちは「月寒川探検隊」として元気に川を探検したり、うお釣りやボート・チューブ乗り、すいか割り、水力発電実験などで夏の一日を満喫していました。



ボート乗りの様子

白石区まち美化プログラム

会員企業のCSR活動へ

令和5年10月25日、11月9日の2日間、「白石ころーど（旧白石サイクリングロード）」約7.2kmの清掃活動を実施し、会員企業・団体を含む37企業・団体の347人が参加しました。集められたゴミや落葉は45の袋で255袋に上りました。

この「白石区まち美化プログラム」は、地域企業や団体と区役所が協定を交わし、区内道路などの環境美化に取り組んでいるもので、当会では「白石ころーど」の清掃活動を春と秋に実施しています。



なお、この活動に係る費用の一部は、自動販売機売上益金を通じた左記の寄付金を活用しています。

自動販売機を通じた寄付

白石区役所と北海道コカ・コーラボトリング㈱とが締結したまちづくりパートナー協定により、防災対応型自動販売機の設置者様から売上の一部を当会にご寄付いただいています。

対象となる自販機は「しろっぴー」のデザインが目印です。心からお礼申し上げます。

【設置者：白石区母子寡婦福祉連合会様、北白石地区センター運営委員会様、㈱コンベンションリンクケーシ様、ムトウ建設工業㈱様、㈱白石コム製作所様】

白石区子どもワンダーランド

仲良く楽しく国際交流

事業委員会では、「第19回白石区子どもワンダーランド」を令和5年10月21日に開催しました。

当日は、小学生51人が、留学生やJICA北海道の研修員など、市内に滞在する外国の方々や、ゲーム・ダンス・サイン会・おやつタイムなど盛りだくさんの内容で、楽しく国際交流しました。



参加した小学生は「外国の人と一緒に遊べて楽しかった」と笑顔で話していました。

雪まつり大雪像制作団体への
激励を実施

総務委員会では、令和6年1月17日、雪まつり大通10丁目会場で大雪像を制作中の「さっぽろ雪まつり大雪像制作委員会」の皆さんを激励訪問しました。

総務委員長から激励の言葉を伝え、チョコ菓子とお茶を差し入れしました。



大通 10 丁目会場では北海道ポールパークFビレッジの大雪像が制作されました